

## 施策の進捗管理シート

令和 7 年度

総合 体系 計画	分野	2	第 2 章	災害に強く、安心して利便性が高い暮らしが実感できるまち	施策統括課	河川砂防課
	施策No.	2	施策名	安全で美しい河川環境の適切な管理	課長名 (施策統括責任)	山口 賢一
	関係課	都市政策課 河川砂防課 北部建設事務所 南部建設事務所				

### 1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	河川等が適切に整備・管理され、多くの市民が水辺に親しみを持てる環境が整っている。
取組方針	河川改修等による治水対策や急傾斜地の土砂災害防止対策などの緊急の課題解決に取り組みます。また、河川・水路の浄化や市民との協働による清掃活動を推進し、水辺空間の保全を図ります。

### 2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか） *人や自然資源等	市民					
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	河川等が適切に整備・管理され、多くの市民が水辺に親しみを持てる環境が整っている。					
成果指標 A	単位					
河川整備率	%					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
79.2	79.4 79.2	79.6 79.2	79.7 79.3	79.8 79.4	79.9 81.9	80.0 82.7
成果指標 B	単位					
急傾斜地対策事業による危険箇所解消率	%					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
60.7	62.5 60.8	63.0 62.8	63.5 63.1	64.0 63.6	64.5 63.9	65.0 43.2
成果指標 C	単位					
水辺空間に親しみを感じている市民の割合	%					
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標実績
69.6	73.2 73.3	73.7 72.1	74.2 71.9	74.7 70.4	75.2 73.0	75.7 77.4

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	61.7%	59.6%	↓
ある程度重要である	32.8%	35.4%	↑
あまり重要ではない	2.0%	2.2%	↑
重要ではない	0.2%	0.3%	↑
順位	2/36位	4/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	5.0%	7.3%	↑
どちらかといえば満足	45.4%	49.3%	↑
どちらかといえば不満	30.8%	25.9%	↓
不満である	8.0%	6.3%	↓
順位	23/36位	15/36位	↑

#### 4. これまでの取組・成果

○河川改修や雨水ポンプ施設等の整備により、治水対策を計画的に推進した。

・尼寺排水機場：R5～稼働

・準用河川の整備（整備率：H30 79.2% → R6 82.7%）

○お濠などの既存施設を活用した治水対策を実施した。

○市民主体の河川清掃活動を推進するため、企業等パートナー制度を創設し、河川清掃活動の高齢化による担い手不足の課題解消を図った。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

・函渠及び護岸の整備進捗を図った結果、整備率が6年間で3.5%上昇した。

・水辺空間に親しみを感じている市民の割合が6年間で7.8%上昇している。今後も激甚化・頻発化する水害に備えたまちづくりを推進し、水辺空間に親しみを感じている市民の割合の増加を目指したい。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

①平野部における河川改修や内水排除対策など、あらゆる関係者による流域全体での治水対策を計画的に推進する。

②山間部の土砂災害防止対策など災害を未然に防ぐ基盤整備の推進を図る。

③流域治水を支える市民主体の河川清掃活動を推進し、持続可能なまちづくりを図る。